

静かな空を
もとめて

昭島支部だより

第2次新横田基地公害訴訟
昭島支部 8月14日 第9号
発行責任者 永川勝則
編集責任者 奥村 博

**住民無視は
許さない**

米軍横田基地に オスプレイ配備を検討

原告団千名を
超え1078人

新たに173人原告
に加わり7/31提訴



米太平洋空軍司令官が7月29日空軍仕様の危険なCV22オスプレイの有力な配備先として横田基地と言及しました。日米両政府が協議中であるが相当の可能性があるとされています。米空軍は嘉手納、横田、三沢だけでなく余裕のある横田となるのは明らかです。墜落事故を繰り返してきたオスプレイは、海外の敵地作戦部隊の投入目的であり、日本の防衛とは無縁のものであります。8月5日沖縄のキャンプハンセンでヘリ墜落事故が発生し、危険性が増しています。東京上空の広大な米軍専用空域を飛行する危険性は沖縄以上です。私たちは日米両政府に対し、配備検討を撤回することを求めます。勉強会でも、「撤回を求め、決議」を採択しました。

裁判を傍聴して

私は、裁判傍聴は初めてです。弁護士の先生方が大勢参加されていて、とても心強い思いでした。裁判所に入る時は、3列にして入るなどしました。裁判では、陳述しているの日程を決めたり、「前回、それほどだろ」と裁す発言があり、国はもっとやる気があるのか、本気になってほしいと思わずにいられません。弁護士会館への移動は暑さの中、杖を突く身にはこたえました。(美堀町 根本栄子)

国はもっとやる気を

こちらがきちんと、国側は次回の日程にもモタモタの裁判の経過も調整はかからない判官から決定を促す国は裁判をやる気があるのか、本気になってほしいと思わずにいられません。弁護士会館への移動は暑さの中、杖を突く身にはこたえました。(美堀町 根本栄子)

第2次新横田基地公害訴訟の第1回口頭弁論が開かれたので参加しました。裁判所へは昭島市のバスで向かいました。市も側面から協力してくれていると感じ、心強い思いがしました。裁判は「静かな夜を返せ」という私たちの切実な訴えに対して、国は全面的に争う姿勢が大変な闘いになりました。毎日頭の上を轟音を響かせて飛び去る米軍機を何とかしてほしいという気持ちから、訴訟団に加わりました。私が生きていくうちには何とか決着をみたいと切に思いました。(大神町 金子恵子)

訴訟ポイント 支部勉強会&

暑気払い!



8月4日に行われた訴状勉強会には、26名の原告団員が参加しました。杉野弁護士からプロジェクターを使用して訴状のポイントを法律用語の解説も含め解りやすく説明されました。吉田弁護士は横田の闘いの歴史を振り返りながら、全国で多くの仲間が起ちあがっており、今また闘うことの重要性について話されました。質疑では率直な疑問など多く出され意義ある勉強会でした。終了後、「夢庵」にて暑気払いを行い交流することができました。

オスプレイ横田基地配備ノーの声を

横田基地へのCV22オスプレイ配備撤回を求める

アメリカ太平洋空軍のカーライル司令官は、7月29日空軍仕様の垂直離着陸輸送機CV22オスプレイの日本配備先について、米軍嘉手納基地と並び横田基地も有力な候補だと述べた。その中で配備先は日米両政府が協議中であるが、横田にはおそらく相当の可能性があるとの見方を示した。沖縄に駐留する陸軍特殊部隊の特殊作戦機として運用し、2015年夏をめどに10機程度の配備を検討している。

オスプレイは開発段階から事故を繰り返し、昨年6月にはフロリダで墜落事故を起こしている。アメリカではニューメキシコ州でもハワイでも住民の反対の声で訓練飛行が中止されており、危険極まりない問題機の訓練飛行を平然と日本で行うことは許されない。CV22は戦闘地域への特殊作戦部隊の投入と撤収など最も危険な任務を担うものであり、乗員訓練のための米空軍訓令では、パイロット一人当たりの離着陸を含む通常訓練が半年間で16から20回、夜間飛行も2から3回が課せられている。横田へのCV22オスプレイの新たな配備は、人口の3分の1を占める首都圏の上空一帯が同機の訓練空域となり住民の生命や財産をさらに危険にさらすことになり到底容認できない。

横田基地には、すでに米空軍のC130戦術輸送機14機が配備され、日常的に訓練飛行が繰り返されている。夜10時近くまで爆音を響かせ離着陸、編隊飛行を行い、基地周辺地域のみならず北関東地域でも低空飛行をしていることが確認されており、住民の暮らしを脅かし苦痛を与えている。

基地周辺の5市1町でつくる基地対策連絡会は7月30日、横田基地への配備撤回を求める要請書を政府に送った。危険な軍用機が日本中を自由に飛び回り、世界でも例のない首都圏を外国軍が占拠している実態を変えなければならない。私たちは民意を顧みない新たなオスプレイの配備には断固反対する。

以上

2013年8月4日

第2次新横田基地公害訴訟原告団昭島支部訴状学習会

私たち訴訟団と、先に訴訟の取組みを行っている「第9次横田基地公害訴訟原告団」が連名で日本政府(首相官邸、外務省、防衛省)に対して、「オスプレイの配備計画撤回を求める要請書」を8月6日、送付しました。すでに、基地周辺の5市1町でつくる基地対策連絡会も撤回要請を政府に行っています。昭島支部も昭島市に対して申入れする予定です。

米軍ヘリ墜落事故 沖縄に広がる抗議と怒りの声

8月5日沖縄で米軍ヘリ墜落事故が発生しましたが、ヘリ部品に放射性物質使用していたことが嘉手納基地からの回答で明らかになりました。日米地位協定で治外法権となっている米軍基地では警察を排除し、何をやってもよいのでしょうか。沖縄には怒りの声が充満しています。

横田訴訟団連名で政府に申し入れ